2023年3月24日(金曜日)

『船員行政ニュース』 1175 国土交通省海事局
船員政策課

下船後の療養補償についてのご案内

○「下船後の療養補償」とは？

船員保険の被保険者の方は、乗船中(原則として船舶内)に初めて発生した職務外の傷病で医療機関を受診する際、「船員保険療養補償証明書」を医療機関(または調剤薬局)に提出することにより、下船日(※)から3カ月間に限り、保険診療分について自己負担なしで受診することができません。

※下船日とは？

乗船中に病気やケガが発生してから最初に寄港、上陸した日(療養を受けられるようになった日)です。

○次の場合は「下船後の療養補償」の対象外です！

(一部負担金のお支払いが必要になります)

- ◆ 乗船前から医療機関で治療していた病気やケガを下船後に治療する場合
- ◆ 職務上の病気やケガの治療を行う場合
(労災保険の給付の対象となりますので、管轄の労働基準監督署へご相談ください)
- ◆ 船舶外(自宅など)で発生した病気やケガを治療する場合
- ◆ 健康診断で見つかった病気についての精密検査、治療などを行う場合
- ◆ 歯科(虫歯・歯周病等)での治療を行う場合
(1年以上継続して乗船中に発症した場合を除きます)

「下船後の療養補償」を利用される場合は、船員保険療養補償証明書を船員保険部へ必ずご提出ください。

「船員保険療養補償証明書」を使用して受診された病気やケガが下船後の療養補償の給付対象であるか否か、発症の状況等について確認させていただく必要があります。

※船員保険部へご提出がない場合は、後日、被保険者の方に、医療機関等の窓口でお支払いいただくはずであった一部負担金相当額(職務上の傷病の場合は医療費の全額)を返還いただくことがあります。

※この記事は、全国健康保険協会の資料を基に作成

〔ファクスだより〕